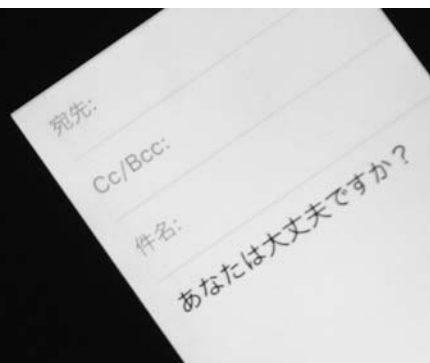
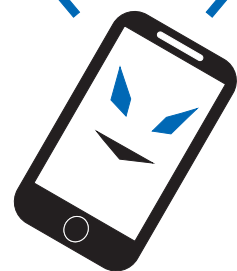


STEP 2 インターネットの注意点を学ぶ ～犯罪につながるトラブル事例～

自分のスマホや携帯を持っている子どもたちはもちろん、それ以外の端末でインターネットを利用する子どもたちも知っておかなければならない注意点を学びましょう。



登録料金
10万円



事例1 ワンクリック詐欺

- ① URL をクリックしたら「登録ありがとうございます」と表示され、登録料金を請求された。
- ② インターネットを見ていたらアダルトサイトにつながり、無料だと思い再生ボタンを押したら「会員登録完了」と表示され、料金請求画面が消えない。

アドバイス

ワンクリックだけでは契約は成立しておらず、料金を請求されても支払う必要はありません。

サイトに連絡すると、個人情報を知られる可能性があります。支払わず、まずは保護者に相談しましょう。

事例2 課金トラブル

- ① 無料のオンラインゲームで遊んでいる間に、アイテムが有料であることに気付かず何度も購入してしまい、高額の料金を請求された。
- ② 子どもが親のクレジットカードを無断利用してオンラインショッピングサイトで高額商品を購入した。

アドバイス

クレジットカードやカード番号などは、子どもが勝手に触れることができないように厳重に管理しましょう。またスマホやパソコンなどの端末に登録されている情報の管理にも注意してください。

個人情報



事例3 SNSでのトラブル

- SNS に自分の個人情報を書き込み、写真を投稿したら…
- ① 変なメールが大量に届くようになった。
 - ② 自分の顔写真などが、他のサイトで無断で投稿されてしまった。
- ※ SNS: コミュニティ型のWEBサービスやネットサービス。

アドバイス

インターネットに一度流れた情報は消せません。簡単にSNSやブログに個人情報を載せないようにしましょう。また公開した写真に位置情報(GPS)が付いていると、他人に自宅の住所が知られてしまいます。

不適切な投稿



事例4 不適切な投稿

- ① 軽い冗談のつもりで、いたずらな文章をサイトに投稿したところ、警察に通報されてしまった。
- ② 友達に見せようと思って、スーパーの陳列ケースの中に寝そべり、その写真をインターネット上に投稿したところ、非難が殺到した。

アドバイス

冗談でしたという言い訳は通用しません。インターネットを利用している限り、その投稿は全世界に共有されます。その投稿が、第3者に見られても困るものではないかと常に考えることが大切です。

STEP 1

町内の子どものインターネット利用状況を知る

インターネットを利用するのが当たり前前の時代

町教育振興運動推進協議会では平成27年度に町内の小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象に「インターネット利用状況調査」を実施しました。調査結果によると、「携帯電話・スマホを利用していますか?」などの問いに、「保護者などから借りても含めると、小・中学生ともに7割以上がインターネットを利用していると回答しています。」

「インターネット利用状況調査」

	対象者 (人)	回答者 (人)	回答率
小学校	202	199	98.5%
中学校	186	178	95.7%
全体	388	377	97.2%

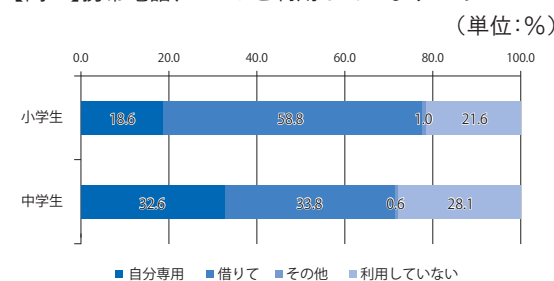
出典: 町教育振興運動推進協議会

「インターネットにつながる」とができる機器は? この問いでは、「パソコン」だけではなく「ポータブルゲーム」「携帯・スマホ」「タブレット」なども利用して、インターネットをしていることがわかります。

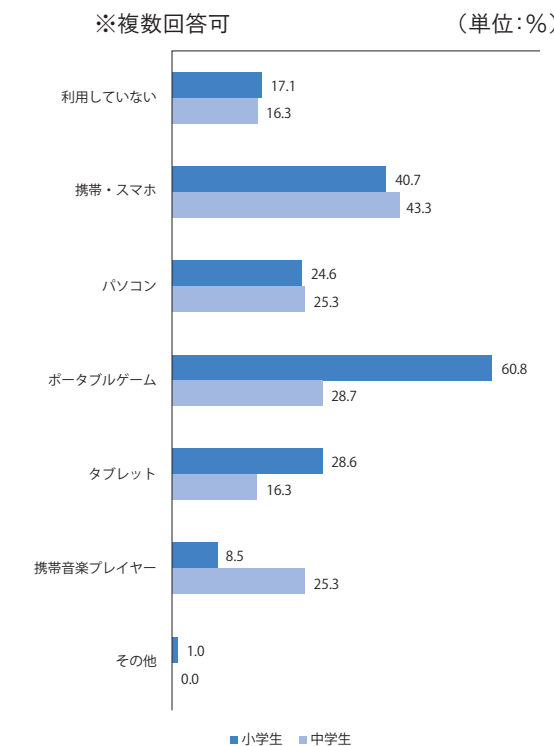
「よく利用するインターネットサービスは?」の問いでは、「音楽・動画」「ゲーム」「コミュニケーション」の回答が多いです。アプリを使用して友達と連絡を取り合ったり、動画投稿サイトを見るなど、さまざまなことにインターネットを利用しています。

「1日にインターネットを利用する時間は?」の問いでは、小・中学生ともに約2割が2時間以上利用しており、すでにネット依存の傾向にあります。大人の皆さんは、自分が子どもだったころを振り返ったとき、「子どもがインターネットを利用することはない」と思うかもしれません。しかし現在では、子どもたちもインターネットを利用するのが当たり前前の時代となりつつあります。

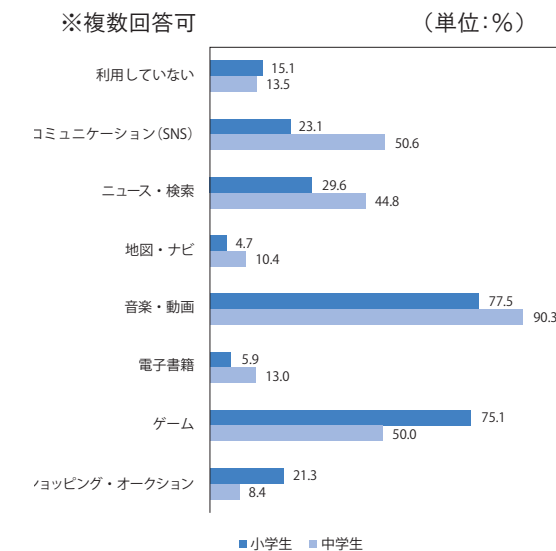
【問1】携帯電話、スマホを利用していますか?



【問2】インターネットにつながる機器は?



【問3】よく利用するインターネットサービスは?



【問4】1日にインターネットを利用する時間は?

